



お互いが

うれしくなる活動へ

Vol.89

木坂 健治さん
(玖珂町在住)

玖珂ユウキの会の代表を務め、地元玖珂町でさまざまなボランティア活動に参加するほか、玖珂町の社会福祉協議会や文化協会などの運営にも携わってきた。



玖珂町で男性のシニアボランティアグループを立ち上げ、地域に根差した活動を行っているのは、玖珂ユウキの会の代表を務める木坂健治さんです。

玖珂町出身の木坂さんは35歳のとき地元に戻りましたが会社勤めで忙しく「引っ込み思案でもあり地元とのつきあいがあまりなかった」と言います。定年退職後、登山が趣味の木坂さんは

自宅近くの塔ヶ森に毎日のように登山道を整備する傍ら途中で出会う登山者や地域の人たちとの交流を深めたそうです。

第二の人生の身の振り方を考えていたところ、男性シニアボランティア講座に参加したことが転機となり、そこで出会ったメンバーが意気投合して平成13年にできたのが玖珂ユウキの会です。

「一人ではできないことも仲間がいればやれるもので、今まで活動してこれたのも気心の知れた仲間がいたからこそ」と言います。

最初に取り掛かったのは「なかったから自分たちで作ってしまった」という会の活動の原点となる「玖珂町散策マップ」です。マップに掲載されている塔ヶ森、鞍掛山、蓮華山の登山道の

整備は定期的に行い、案内板の設置や草刈り作業など登山者が快適に登山道を利用できるようにしています。

「人からお願いされたら断らないでとりあえずやってみる」という木坂さん。これまで手掛けたボランティア活動は「登山道整備」や「ホテルの里づくり」、「子ども遊び支援」など多岐にわたります。

「ボランティアを始めて大変だと感じたことは一度もない。活動を通じて自分自身が喜びや充実感を味わうことができ、その結果として多くの人から感謝されるという『お互いがうれしくなる活動』だからだと思えます」と木坂さんは言います。

会の設立から15年、現在の会員22人の平均年齢も73歳と高齢化が進んでいますが「これからも仲間とともにできるだけ長く活動を続けていきたい」と笑顔で語ってくれました。

▼登山道の草刈りに参加したメンバー（鞍掛山山頂）



▲会の活動の原点となった散策マップ（左側が初版）



▲ホテルの里づくりでの幼虫放流の様子